

# 地域協議会への諮問対象、大きく変更か 上越市、地域協議会会長会議で見直し案示す

14日に希望館で地域協議会会長会議が行われました。そこで出された資料などを見せていただきました。注目したのは、「地域協議会の一層の活性化に向けた見直しについて(案)」です。検証会議などを経てだされたものですが、重要なことがいくつも書かれています。

今回、見直しの内容として示されたのは、①諮問基準の整理・見直し、②委員定数基準の見直し、③公務員のうち非常勤にあたる職員の委員資格の容認、④その他一層の活性化に向けた取

組、の4項目です。

このうち、諮問基準の整理・見直しでは、地域協議会への諮問は地域自治区内の「住民の生活に及ぼす影響」という観点から意見を求めているとして、「地域自治区に関する重要事項で『当該自治区の住民の生活に及ぼす影響』の観点から、真に必要なもののみ諮問するとして、統一基準に基づく公の施設の使用料の定期的な見直しや設定、公の施設への指定管理者制度の導入及び廃止などを除外

また委員定数基準については、現在、13区と15区(合併前の上越市の区域)では異なる基準で定められることや人口減少の現実を踏まえて、「全区統一の人口に基づく定数基準」にするとして、案を示しました。

今回の見直し案は担当課によることですが、委員定数ひとつとつても歴史的な経過があります。また(仮称)厚生産業会館建設をめぐる行政側の対応をめぐる、地域協議会委員や市民の間で行政に対する不信感も生まれました。十分、議論を尽くしてほしい



【クサアジサイ】ユキノシタ科の多年草。ヤマアジサイとほぼ同じ時期に咲きます。漢字で「草紫陽花」と書きます。いま、大島区から吉川区を通り、柏崎市へと抜ける県道沿いに、ひっそりと咲いています。吉川区の上川谷にて7月中旬撮影しました。

## 戦後70周年、非核平和 都市宣言20周年記念の 平和展・ヒロシマ原爆展

今年には戦後70周年であり、上越市としては非核平和都市宣言をしてから20周年という節目の年でもあります。上越市は広島市と共同して平和展・ヒロシマ原爆展を開催しています。

平和展・ヒロシマ原爆展では広島での被爆の実際の姿をみてもいい、市内の残っている戦争にかかわる資料も知ってもらおうというのが狙いです。とてもいい企画だ



と思います。

私は広島市の原爆資料館を一度訪れています。被爆した三輪車、弁当箱、瓦などは何度見てもインパクトがあります。市では市内のすべての中学校から毎年、生徒を平和祈念式典等が行われる広島に送っています。今回はその感想文も展示されています。この平和展・ヒロシマ原爆展は25日までです。今後ともこういう企画をしてほしいですね。右の写真は戦争中に使われたものの展示品のひとつです。

### 上越市地域協議会の一層の活性化に向けた見直しについて(案)

平成25年度から2か年にわたり、上越市地域協議会検証会議を設置し、地域協議会の一層の活性化に向けた検証を行いました。検証会議からは、自主的審議の活性化や人口減少に応じた委員定数の見直しなど、地域協議会の活性化に向けた様々なご意見をいただいたところ。市では、これらのご意見やこれまでの制度の運用状況等を踏まえ、身近な地域の課題について議論し、地域の意見を取りまとめ、市政に反映させる地域協議会の役割をより一層発揮するため、制度や運用の一部を見直すものです。

#### 1 地域協議会の役割等

##### (1) 地域協議会の役割

地域協議会は、地域の課題を解決するために、地域協議会委員が当該自治区に暮らす住民の目線に立った議論をし、取りまとめた意見を市政に伝える市長の附属機関です。

##### (1) 諮問基準の整理・見直し

地域自治区に関する重要事項で「当該区の住民の生活に及ぼす影響」の観点から、真に必要なもののみを諮問することとし、次に掲げるものを除外します。

##### ①統一基準に基づく公の施設の使用料の定期的な見直しや設定

###### <除外する理由>

一部の公の施設の使用料については、平成26年度に受益者負担の適正化を目指した統一算定基準を設けて改定しており、今後はその基準により3年毎に原価計算及び価値補正による使用料等の算定を行い、必要に応じて当該使用料を見直す予定であるため。

##### ②公の施設への指定管理者制度の導入及び廃止

###### <除外する理由>

公の施設の管理運営は、指定管理制度においても条例や業務仕様書の範囲の中で行われるものであり、住民生活に大きな影響を及ぼすものではないため。

##### ③地域自治区内の特定の地域の利用に特化した施設の廃止、管理の在り方の変更

###### <除外する理由>

使用する人が地元関係者に限定されており、それらの方々の了解が得られている施設の廃止や管理の在り方の変更については、市長の政策判断と地域住民の意向との間に齟齬が生じないため。

はしづめ法一の  
活動レポート

No.1717 2015.7.26

発行編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp

URL http://www.hose1.jp/



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第三六五回

## 小さなバラ

人間にはどんなに歳を重ねようと、きれいだとほめてもらえるところが一か所だけでもあった方がいい。先日、母と一緒に伯母が入所している介護老人福祉施設を訪ねてみて、そう思いました。

私たちが訪ねた日は伯母がこの施設に入所してからまだ一〇日くらいしか経っていない日でした。伯母は二階にある自分の部屋にはおらず、中央部にあるデイホームにいました。伯母はゲームが何かに参加しているというふうではなく、椅子に座ったまま少し離れた所において、みんなを眺めているといった感じでした。

介護している職員さんに声をかけ、伯母に会いに来たことを告げると、職員さんは、大きな声で、「イサノさん、むこうの談話コーナーでゆっくりしゃべってきなさい」と伝えてくださいました。

伯母の顔を見た母の第一声は、「きれいな顔している」でした。伯母の顔はつやつやしていて、じつにいい顔だったのです。母は職員さんを前に、訊かれもしないのに、「七つ、歳違うが。私は九一歳だし、この人は九八だ」とも言いました。ただ、伯母には、母の言葉が伝わっていないようでした。母の顔を見ても、いつものようにニコニコすることがありません。

職員さんが再び伯母に声をかけます。「イサノさん、きれいな顔してるだつて。あつちへ行ってゆっくりしない」そう言われて、伯母は初めて口を開け、「ありがとうございます」といいますという声を出しました。

職員さんに手伝わってもらいながら、伯母は廊下の一角にある談話コーナーまで歩行器につかまって移動しました。そこで母が「たつしやだね」と声をかけたのですが、この言葉も伯母にはよく聞こえなかったのでしょうか、「ああつ？」と訊き返します。たまりかねた母は、「わかるろね」とズバリ伯母に質問しました。これには伯母もすぐ反応し、「わかるこて……」と言いました。

しばらくして、伯母と母の話もかみ合うようになってきました。「どこもわるいところないかえ」という伯母の問いに、母が「おりや、悪いとこないよ。畑もしているし、自転車にも乗っている」と答えると、伯母は「おおそっか、足の運動してるが」と言つてニコニコ顔になりました。

私は二人の話をそばで黙って聞いていたのですが、テーブルの上のせていた伯母の左手を見て、びっくりしました。人指し指の爪がピンク色に塗ってあったからです。しかもそこには花が白い色で描かれていました。「おまん、手、なしたが。かつこいいね」と私が言うと、母も伯母の手を取り、「花だ。きれいな花だなあ。こりや、バラの花だ」と言いました。伯母もほめられてうれしそうでした。

伯母の爪に描かれた小さなバラは、はやりのネイルアートというのでしょうか。爪という、人間の体のほんの小さな一部分に絵を描くものですが、アピール力抜群です。歳が歳ですから、伯母の指は皺だらけ。でも、その指の先にはきれいな花が咲いている、それだけで伯母のイメージがぱっと明るくなるのですから、たいしたもんですね。

この日も伯母は妹である母のことを気遣い、「ご飯食べてきたが」と訊きました。母も姉のことを心配して、「たいくつしねかね。さんさんならんかね」と言うと、伯母は、「なつたつてどうしようもね」。九〇代のこの姉妹、まだまだ元気にがんばってくれそうです。

## くびき野フォーク村が懐かしのコンサート

柿崎コミプラで19日に開催された第2回くびき野フォーク村のフォーク・コンサートを聴きに行ってきました。

朝市のおんちゃんの元気のいい歌

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	7月15日(水)	7月22日(水)
上越南消防署	0.043	0.040
上越北消防署	0.040	0.053
新井消防署	0.047	0.047
頸北消防署	0.043	0.043
頸南消防署	0.057	0.050
東頸消防署	0.053	0.047
高士分遣所	0.050	0.040
名立分遣所	0.050	0.057

に始まり、しっとりした歌、愛を感じる歌など楽しませてもらいました。曲目は「旅立ち」「なごり雪」「線香花火」など懐かしいものばかり。私の大好きな歌、「卒業写真」を歌った人もいました。ユーミンや山本潤子の「卒業写真」ばかり聴いていましたが、男性の歌もいいもんですね。会場では元農業関係出版社の方など思いがけない人と何人か出会いました。うれしかったです。上越地方にはフォークを愛する人がいっぱいいるんですね。



## ひぐちキミヨさんの「お饅米展」

イラストレーター、ひぐちキミヨさんの「お饅米展」を見ってきました。直江津の夏まつりに合わせた絵画展です。

短時間の鑑賞の中で惹きつけられた絵ハガキがありました。

夕焼けの中に昔の荒川橋があり、子どもたちが遊んでいる、そういった絵です。直江津に住んでいなくても何となく惹かれる、いい風景ですね。「お饅米展」はイトーヨーカドーにて30日まで行われています。

